

令和3年度 ふるさと長崎応援寄附金 実績報告書

令和4年(2022年)9月23日

西九州新幹線(長崎↔武雄温泉)開業!

(武雄温泉駅で在来線特急と同一ホームで乗換)



新幹線「かもめ」



長崎県総務部税務課

ふるさと長崎を応援してくださる皆様へ ごあいさつ

多方面から選ばれる「新しい長崎県づくり」の実現に向けて

ふるさと長崎応援寄附金につきましては、多くの皆様から励ましのお言葉とともに、心温まるご支援をいただき、改めて深く感謝を申し上げます。

令和3年度に皆様からいただきました寄附額は、2億8,672万円となり、前年度の約2倍のご寄附を頂戴いたしました。これまで以上に全国の皆様に、魅力あふれる「ふるさと長崎県」を広めることができましたと感じております。

さて、本県では、令和4年9月23日に西九州新幹線（長崎～武雄温泉間）がついに開業を迎えました。これにより、長崎～博多間の最速の所要時間は、約30分短縮され、往復で約1時間短縮することから、全国各地と本県がより近くなり、多くの方々に本県を訪れていただく契機となることを大変期待しております。

また、特定複合観光施設（IR）の誘致など様々なプロジェクトが展開され、産業面においても、航空機やロボット・IoT等の新たな基幹産業化にかかる動きが見られるなど、大きな変革の時期を迎えております。

さらに、長崎県は、豊かな自然や独自の文化・歴史など多くの魅力に溢れております。本県では、「ふるさと長崎県」を、全世代の方々が、安心・継続して豊かで温かい暮らしを営むことができる「明るく元気な県」にするために、これからも様々な施策に取り組んでまいります。

長崎県といたしましては、皆様からお寄せいただきました貴重な寄附金を有効に活用させていただきながら、県政をしっかりと前に進めてまいります。また、一人でも多くの方に長崎県を訪れていただけるよう、これからも魅力を全国に発信してまいりますので、長崎県への応援とともに、これまでと変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



長崎県知事 大石賢吾

寄附の報告

令和3年度にお寄せいただいた寄附金額、件数及び用途についてご報告します。

◆寄附の金額及び件数

金額	件数
286,728,580円	13,252件

プロジェクト名	金額	件数
1.離島医療を支える医師・看護師等の医療従事者確保プロジェクト	95,972,495 円	4,165 件
2.「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の未来への継承プロジェクト	28,217,495 円	1,332 件
3.アイランドスクール応援プロジェクト！！～愛は「しま」の学校を救う～	13,966,495 円	880 件
4.新幹線開業効果拡大プロジェクト	19,238,495 円	862 件
5.障がいのある子もいない子もすべての子どもがともに遊べる広場を作ろうプロジェクト	33,285,495 円	1,450 件
6.未来の県内産業を担う若者の育成・定着プロジェクト	25,142,495 円	1,088 件
7.しまの産品振興応援プロジェクト	12,671,495 円	757 件
8.「魚を食卓に届ける。」長崎の漁師応援プロジェクト	18,060,495 円	1,000 件
9.長崎県の特徴ある歴史・文化芸術を活用した地方創生プロジェクト	24,022,495 円	910 件
10.あらゆる人に優しいユニバーサル観光推進県づくりプロジェクト	15,468,495 円	795 件
小 計	286,045,950 円	13,239 件
新型コロナウイルス感染症対策	682,630 円	13 件
合 計	286,728,580 円	13,252 件



〒850-8570

長崎市尾上町3-1

TEL : 095-895-2212

FAX : 095-895-2555

E-mail : furusato@pref.nagasaki.lg.jp



令和3年度 寄附金の活用事例





+

新幹線開業効果拡大プロジェクト



令和4年9月23日の新幹線開業効果を最大限に高め、県下全域へ波及させ、西九州新幹線の開業の認知度を県内外へ拡大させるため、県内外で行われるイベント時に提供するノベルティグッズの製作等、気運醸成に向けて取組みました。

また、官民一体での連携体制を強化するとともに、関西地方等での広報プロモーション事業や来県者の受入体制構築により誘客を促進したほか、県内周遊に向けた交通対策等を推進しました。

○



〔令和3年度の主な取組〕

- ・開業1年前イベント開催
- ・新幹線レールウォーク開催
- ・フリーきっぷの実証販売
- ・関西・中国圏等広報プロモーション事業実施



(新幹線対策課)



「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 の未来への継承プロジェクト

構成資産の多くが離島や半島にあり、高齢化や人口減少が著しく進む中、構成資産を保護するための修復費用の確保が大きな課題となっています。

そのため、長崎県では皆様からお寄せいただいた寄附の受け皿となる基金を創設し、修復費用を助成しています。

【事例】

○黒島天主堂（佐世保市）保存修復・防災施設整備事業

（文化振興・世界遺産課）

アイランドスクール応援プロジェクト！！ ～愛は「しま」の学校を救う～

離島部の学校は、豊かな自然や文化の中で学習や部活動に取り組める一方、本土に比べ地理的ハンデがあり、様々な活動を行う際に負担が大きいことが問題となっています。長崎県教育委員会では、そのような状況下でも本土と変わらない教育が受けられるよう、ふるさと納税を活用し、離島の県立学校を支援しています。

- 中国語オンライン授業及び中国語サマーキャンプ
- 歴史学専攻の史跡巡検
- 伝統楽器の専門家による韓国文化講習
- 環境保全活動の一環としての海岸の漂着物調査
- スポーツに関する講演会及び合同練習会
- イングリッシュキャンプ



(教育庁)

離島の医療を支える 医師・看護師確保プロジェクト

県内離島等に勤務する医師・看護師の育成・確保のため、県内離島等で一定の期間勤務いただいた場合に返還が免除される修学資金の貸与を行っています。



(医療人材対策室)

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、保健所等における検査等にかかる備品を整備しました。

右の写真は、県央保健所に新たに設置した安全キャビネットです。

(感染症対策室)

